



各位

平成28年4月11日

会社名 株式会社東武ストア  
 代表者名 代表取締役社長 丹羽 茂美  
 (コード番号 8274 東証第一部)  
 問合せ先 常務取締役経本部長  
 山本 秀昭  
 (TEL. 03-5922-5243)

平成28年2月期通期連結業績予想値と実績値との差異及び  
 特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

平成27年10月13日に公表しました平成28年2月期(平成27年3月1日～平成28年2月29日)の通期連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

1. 平成28年2月期 通期連結業績予想値と実績値との差異  
 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

|                          | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 四半期純利益 | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|--------|-----------------|
|                          | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円    | 円 銭             |
| 前回発表予想 (A)               | 84,000 | 1,000 | 970   | 400    | 6 24            |
| 実績値 (B)                  | 83,185 | 1,327 | 1,368 | 489    | 7 64            |
| 増減額 (B - A)              | △ 815  | 327   | 398   | 89     | -               |
| 増減率 (%)                  | △ 1.0  | 32.7  | 41.0  | 22.3   | -               |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成27年2月期) | 85,334 | 1,205 | 1,267 | 179    | 2 64            |

## 2. 差異の理由

当期の連結業績につきましては、売上高はほぼ予想通りに推移しました。一方、経費につきましては電気料が前期(平成27年2月期)より進めておりました店舗照明のLED化による節電の効果に加え、単価の下落があり大きく減少したこと、また、広告宣伝費等の諸経費につきましても効率的使用により圧縮に努め営業利益、経常利益が前回予想を大きく上回ることとなりました。

## 3. 特別損失(減損損失)の発生

当社は収益性の低下した店舗につき、平成28年2月期第4四半期会計期間におきまして「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2億70百万円を特別損失(減損損失)として計上いたしました。

(注) 従来、「営業外収益」に計上しておりました「受取手数料」は、当期より「売上高」に計上する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前期実績(平成27年2月期)の売上高及び営業利益が220百万円それぞれ増加しております。

以上